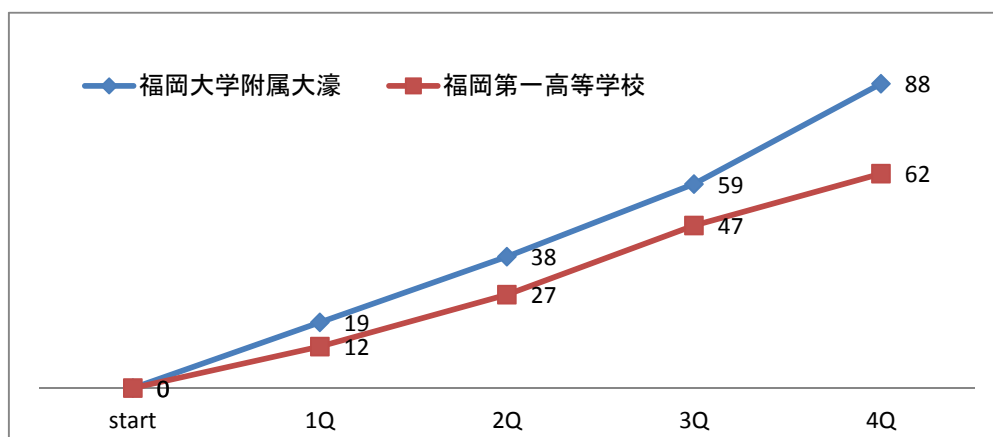


平成25年度 全九州高等学校体育大会 第66回 全九州高等学校バスケットボール競技大会 男子の部

男子決勝	福岡大学附属大濠	88	62	福岡第一高等学校
主審 福岡 敏徳	(福岡県1位)	○	●	(福岡県2位)
副審 松本 究				
第二副審 伊藤 彰二				

No. 23a4 日時: 2013年6月23日(日) 13:30 会場: 宮崎県体育館



福岡大学附属大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 青木 保憲 (C)	15	4	1	1	0
5	堤 大喜	1	0	0	1	2
6	金丸 亮太	2	0	1	0	0
7	* 葛原 大智	14	0	6	2	2
8	牧 隼利	2	0	1	0	2
9	* 松尾 啓輔	4	0	2	0	3
10	藤井 裕太	-	-	-	-	-
11	鳥羽 陽介	0	0	0	0	0
12	帯刀 滉暉	-	-	-	-	-
13	* 津山 尚大	14	1	4	3	2
14	* 杉浦 佑成	30	3	8	5	2
15	野口 夏来	6	0	2	2	2
コーチ	片峯 聡太					
合計		88	8	25	14	15

福岡第一高等学校

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 田口 航 (C)	20	0	7	6	2
5	* 奥野 功知	6	1	1	1	1
6	* 時田 康佑	13	1	5	0	3
7	* 大坪 真吾	2	0	1	0	2
8	濱田 健太	2	0	1	0	0
9	三枝 幹司	0	0	0	0	1
10	エルバツ・ニャン	6	0	2	2	4
11	秋山 皓太	8	2	1	0	3
12	* 張 効広	4	0	2	0	2
13	城間 建伍	0	0	0	0	0
14	井手 優希	-	-	-	-	-
15	河野 佑太	1	0	0	1	0
コーチ	井手口 孝					
合計		62	4	20	10	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

決勝戦は、10年ぶりの優勝を狙う福大大濠と2連覇を狙う福岡第一の福岡県同士の対戦となった。共にハーフマンツーマンで、静かなゲーム展開となった。徐々に福大大濠#14杉浦のミドルシュートやカットインシュートで確実に得点を伸ばしていった。一方、福岡第一も#4田口を中心に得点をするが、他の選手の得点が伸び悩み19-12で第1ピリオドを終える。第2ピリオドに入ると、両チームとも1体1から攻撃のリズムをつかもうとするが、互いに厳しいチェックで点数が伸び悩む。そのため、両チームともチャージングを犯すなどオフェンスに焦りが見られ、前半を終える。後半に入り、福岡第一は1-2-1-1のゾーンプレスで流れをつかもうとするが、福大大濠は#4青木と#14杉浦の連続3Pでその差を16点と広げる。ここでたまたま福岡第一は後半初めてのタイムアウト。ディフェンスのチェックが厳しくなり、福岡第一#4田口のバスケットカウントなどで再び点差を一桁に縮める。その後、一進一退が続き59-47で第3ピリオドを終える。第4ピリオドに入ると、福大大濠のシュートチェックがより厳しくなり、残り6分18点差をつけられ、福岡第一最後のタイムアウトを取る。しかし、流れを止めることができず88-62で福大大濠が10年ぶりの優勝を果たした。

記載者

内田 智・中間 雄太